

tutwifi2025 接続手順 - Windows11 編

豊橋技術科学大学 情報メディア基盤センター

この文書では、Windows11 で tutwifi2025 に接続するための設定手順を説明します。

設定手順

1. スタートメニューの検索窓に「control」と入力し、表示された「コントロールパネル」をクリックします。



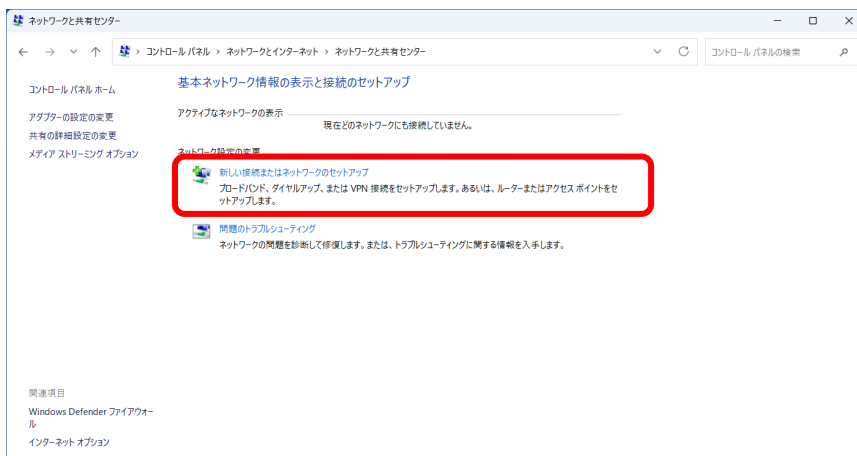
2. 「コントロールパネル」が開いたら、「ネットワークとインターネット」をクリックします。



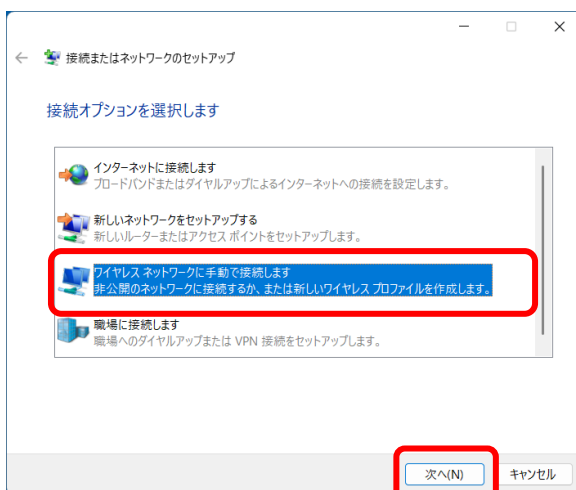
3. 「ネットワークとインターネット」画面が表示されたら、「ネットワークと共有センター」を選択します。



4. 「ネットワークと共有センター」のウィンドウが開いたら、「新しい接続またはネットワークのセットアップ」を選択します。



5. 「ワイヤレスネットワークに手動で接続します」を選択し、「次へ(N)」のボタンをクリックします。



6. ネットワーク名に「tutwifi2025」と入力します。セキュリティと暗号化の種類は、WPA2 エンタープライズ/AES の組み合わせになります。「次へ」をクリックします。

← ワイヤレス ネットワークに手動で接続します

追加するワイヤレス ネットワークの情報を入力します

ネットワーク名(E):

セキュリティの種類(S):

暗号化の種類(R):

セキュリティキー(C): 文字を非表示にする(H)

この接続を自動的に開始します(T)

ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する(O)

警告: 選択すると、このコンピューターのプライバシーが危険にさらされる可能性があります。

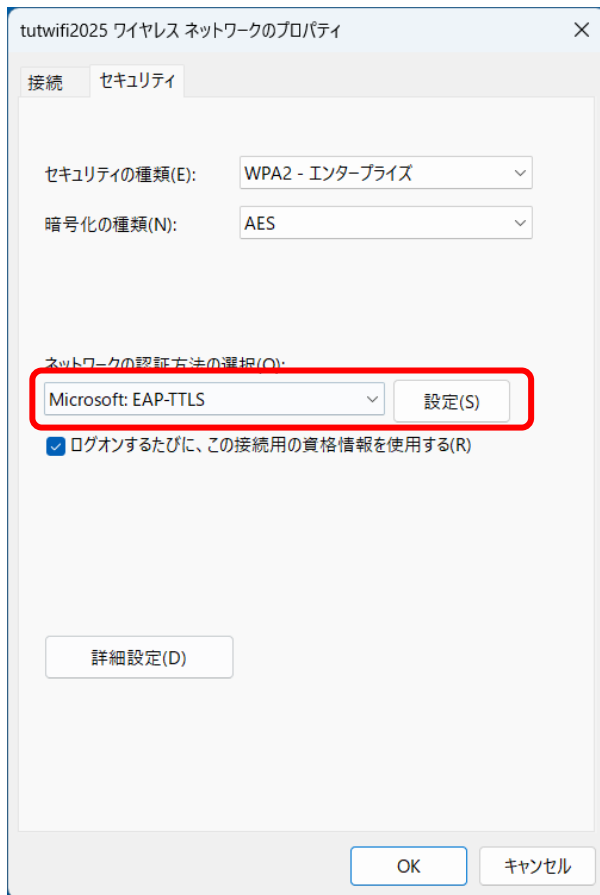
7. 「正常に tutwifi2025 を追加しました」の表示が出たら、「接続の設定を変更します」を選択します。

← ワイヤレス ネットワークに手動で接続します

正常に tutwifi2025 を追加しました

接続のプロパティを開き、設定を変更します。

8. 「セキュリティ」タブを選択し、「Microsoft: EAP-TTLS」を選択してから、「設定」ボタンをクリックします。



9. 「ID プライバシーを有効にする」のチェックをはずします。クライアント認証の「認証に EAP メソッドを選択する」を選択し、「Microsoft:セキュリティで保護されたパスワード (EAP-MSCHAP v2)」を選択したら「OK」をクリックして、このウィンドウを閉じます。

TTLs のプロパティ

ID プライバシーを有効にする(D)

anonymous

サーバー証明書の検証

これらのサーバーに接続(O):

信頼されたルート証明機関(R):

- AAA Certificate Services
- Certum Trusted Network CA
- Certum Trusted Network CA 2
- Class 3 Public Primary Certification Authority
- DigiCert Assured ID Root CA

サーバーを承認できない場合に、ユーザーを確認しない(P)

クライアント認証

認証に非 EAP メソッドを選択する(N)

暗号化されていないパスワード (PAP)

Windows アカウント名とパスワード (あればドメインも) を自動的に使う(W)

認証に EAP メソッドを選択する(E)

Microsoft: セキュリティで保護されたパスワード (EAP-MSCHAP v2)

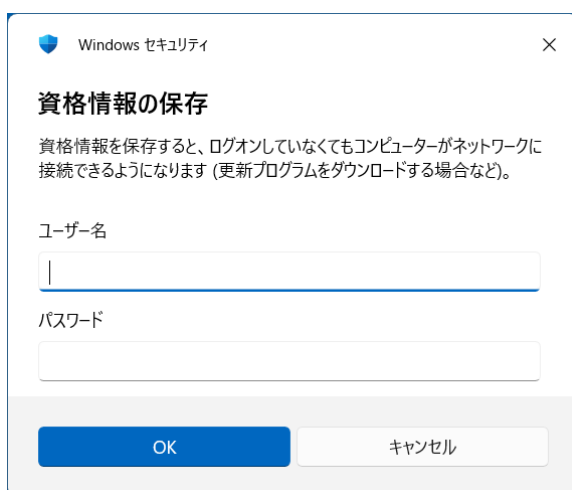
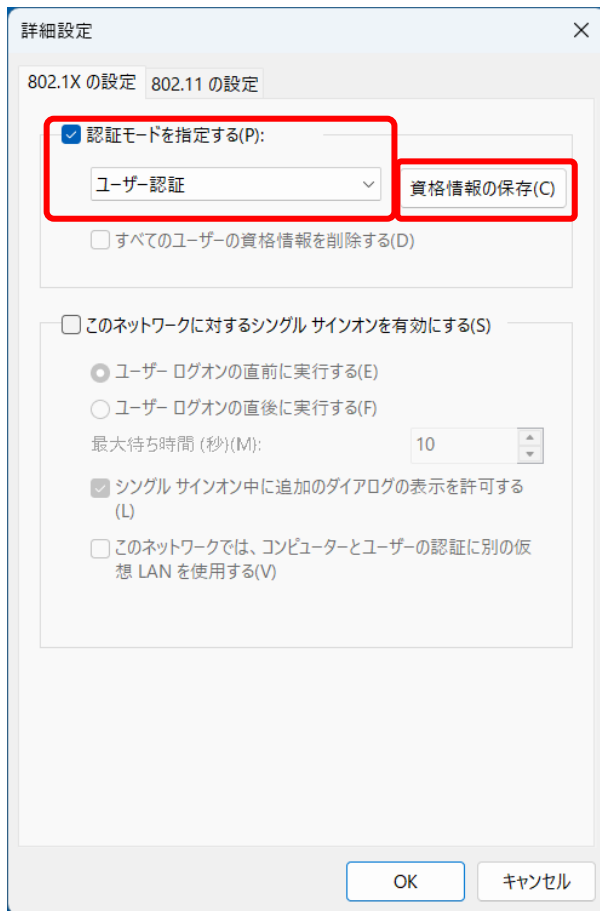
構成(C)

OK キャンセル

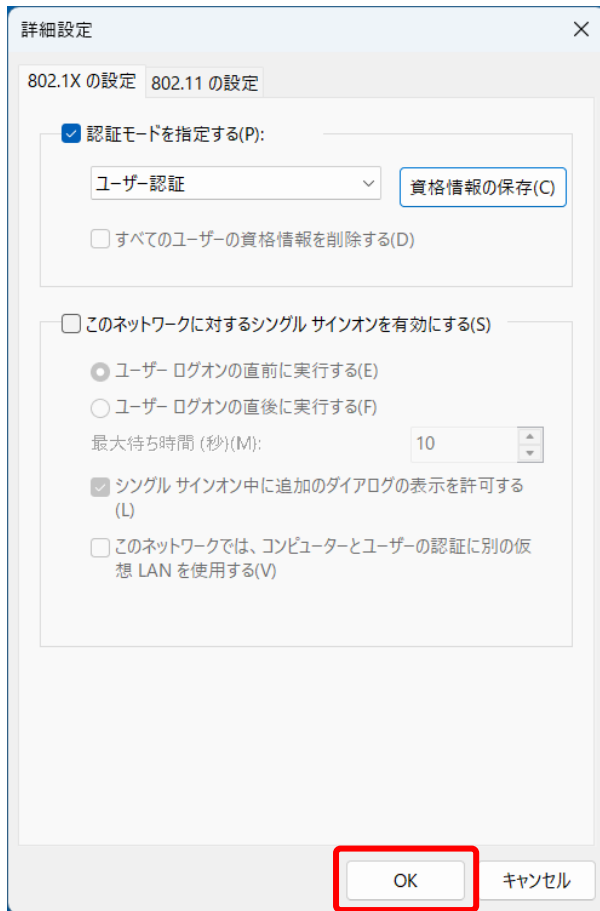
10. 「詳細設定」ボタンをクリックします。



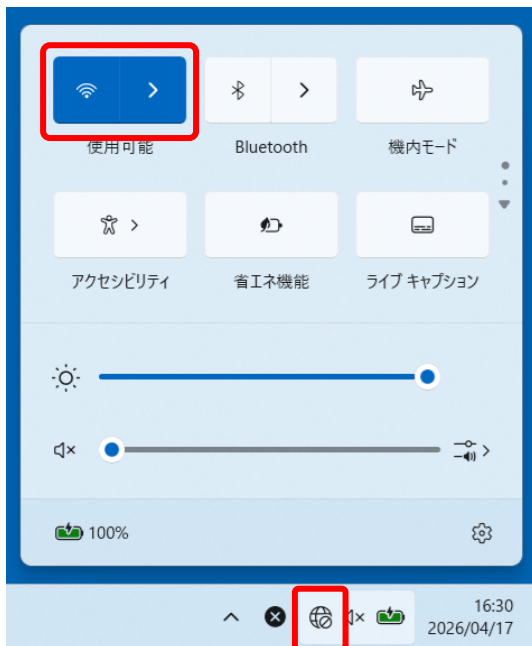
11. 「詳細設定」のウィンドウで、「認証モードを指定する」にチェックを入れ、「ユーザ認証」を選択します。「資格情報の保存」をクリックして、ユーザ ID とパスワードを入力し、OK を押します。



12. OK ボタンをクリックして、「詳細設定」と「tutwifi2025 ワイヤレスネットワークのプロパティ」の ウィンドウを閉じます。



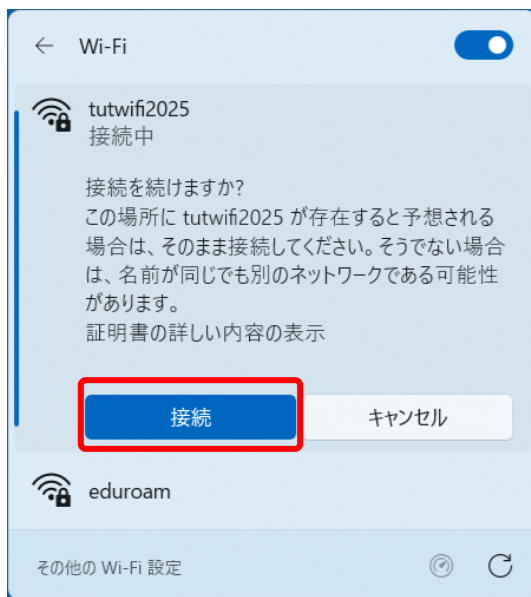
13. タスクバーのネットワークアイコンを左クリックし、「Wi-Fi」アイコンをクリックして Wi-Fi を有効にし、「>」アイコンをクリックします。



14. 表示された SSID の一覧から「tutwif2025」を選択し、「接続」ボタンをクリックします。



15. 「接続」 ボタンをクリックします。



16. しばらくすると tutwifi2025 に接続されます。



以上で接続手順は完了です。